

## 原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について ( 2021年7月 検針分 )

2021年2月～2021年4月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。  
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2021年7月 検針分の単位料金は、2021年6月 検針分 に比べて、1m<sup>3</sup>(45MJ)当り

▲ 0.1 円(消費税込)、標準家庭(26m<sup>3</sup>)では月額 ▲ 2 円の調整を行うこととなりました。

### ●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	2021年6月 (A)	2021年7月 (B)	(B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	223.48	223.38	▲ 0.1
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	164.42	164.32	▲ 0.1

### ●平均原料価格

	単位	2021年1月 ～ 2021年3月	2021年2月 ～ 2021年4月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	46,060	45,800	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	61,210	64,470	
平均原料価格	円/トン	47,020	46,930	46,100

平均原料価格=LNG平均価格×0.9541+LPG平均価格×0.0502

(10円未満端数四捨五入)

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格 (平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき)  
= 46,930 - 46,100 = 800 円/トン

(100円未満端数切捨て)

### ●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金 = 基準単位料金 + 0.084×原料価格変動額÷100円×(1+消費税率) (小数点第3位以下の端数切捨て)

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2021年7月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	222.65	223.38	0.73
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	163.59	164.32	0.73

### ●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m <sup>3</sup> )	(A) 2021年6月	(B) 2021年7月	影響額 (B)-(A)
26	6,445	6,443	▲ 2

計算式・・・基本料金(税込)+調整単位料金(税込)×使用量 (1円未満の端数は切り捨て)